

第4章 学識経験を有する方からの改善に向けたご意見

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検評価を行うにあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定により、教育に関して学識経験を有する方の知見を活用することとされております。

このため岩見沢市教育委員会では、5名の方を岩見沢市教育行政点検評価にかかる検討委員として委嘱し、5回の会議を通じて各事業の点検評価内容を検討委員に説明するとともに、各委員から具体的な意見等を頂きながら点検・評価を進めて参りましたので、検討委員から頂いた改善に向けた意見の主なものについて、次のとおり掲載いたします。

<総括的事項>

1. 教育委員会の業務について

教育行政については、市民の目線、次世代を担う子ども達の目線が非常に重要で、ここ数年、そういう目線を非常に大切にしている印象があり、安心感がある。課題も色々あり、少ない予算、少ないスタッフで苦労はあるとは思いますが、今後も、市民、子ども達の目線で着実により良い方向に進めてもらいたい。

教育委員会の事業はとて多くて、非常に苦勞されていることが分かったが、点検評価表、昨年の反省や事業の実施状況からは、スピード感がないように感じる。

教育委員会では、幅広く業務をしていることが分かったが、後は工夫と前例に囚われない勇気を持って、業務に取り組んでほしい。

2. 教育行政の点検評価について

今回から、各事業の点検評価の日程が通算して5日間日程となり、前年度から1日増えたことにより、行政の方々から詳しい説明を聞いたので、分かり易く良かった。

前年まで担当課長のみの出席・説明だったが、今回より担当係長も出席したことで、作り手の顔が見える会議となった。作り手も会議に出席することにより、今後の業務のやりがいにも繋がると思う。

点検評価表に「様々な事業」とか「様々な工夫」という表記があったが、全て、「様々な」一言でかたずけている感じがあり、そこを具体的に挙げるような点検評価にしてほしい。

〈個別的事項〉

1. 教育委員会事務局管理事業（写真展）について

教育情報システム化推進事業（教育関連情報の充実）について

市役所各部署から個別に市民に周知している情報について、年に1回、1か所、例えば百餅まつり等のイベント時に発信したほうが、相乗効果があるのではないかと。

美唄の観光では、ツイッターで様々なことを発信している。岩見沢市教育委員会というツイッターがあれば、写真展についても幅広く周知出来るので、ICTを活用した新たな情報発信にも積極的に取り組んでほしい。

2. 小・中学校校舎等管理事業について

学校の耐震化について、予算の関係もあると思うが、1年でも早く安全だと言われるレベルになるよう取り組んでほしい。

3. 学校給食について

老朽化した施設や設備、搬送車両についての整備計画等を明確にすることが必要。

食中毒について、適正な指導や指針を出すことや、職場環境の改善など、お金が掛からない工夫の中で、対応できることや改善できることがたくさんある。また、教育委員会として十分対策を練りながら対応している実態があるので、食中毒後の対策として市民に安心感を与えるためにもきちんと公表してほしい。

4. 生涯学習振興事業について

事業の内容が、中高年等の方を対象とする社会教育的なものに偏っているように感じる。生涯学習の理念である子供から大人までの統合、家庭や地域、学校の連携、それらを見据えた今後の流れというものが見えにくい。

生涯学習というのは、現代の居場所のない子供達が、そこに居場所を見つけられる可能性があり、エネルギーを費やせる場所になる。生涯学習センターにも、受け入れ場所があればいいと思う。

5. 次世代育成支援事業（子育て支援センター事業）について

子育て情報等について、各自が持っている携帯電話が非常に有効な情報端末なので、積極的に活用できるような情報発信を検討してはどうか。

6. 次世代育成支援事業（つどいの広場事業）について

講座を開催するなど、支援ボランティアの参加促進に取り組んでいるが、参加増には繋がりにくいことが分かった。より安全安心で充実した支援を行うため、ボランティア等の協力が必要なことから、今後も継続して参加促進を図ってほしい。

7. 児童館について

年2回、主に火災訓練を行っているが、今回の震災を踏まえ、地震を想定した訓練も実施してほしい。

8. 留守家庭児童対策事業について

障がい児の受入れについては、障がいを持っていることで、かなりの制約を受けてしまうことや、受け皿も非常に少ないという実態がある。引き続き少しずつでも境目を付けず、参加できる事業や受け入れ施設について、できる範囲で対応をお願いしたい。

9. 岩見沢の歴史について

郷土科学館では、岩見沢市の生い立ちや、今までの成り立ちが整理されていない。この街の生い立ちなどをストーリー立てた中で、親しみ易く歴史を学ぶことができれば、子ども達も自分達の街にもっと愛着が持てるのではないか。

10. 緑陵高等学校について

子ども達に行きたいと思われる特色ある学校づくりなど、市立の緑陵高校には皆が期待している。学校全体でしっかりとしたビジョンを持てば、岩見沢市の素晴らしい財産になるので、それを期待したい。